

令和4・5年度在宅医療・介護連携推進協議会テーマ 「認知機能が低下した高齢者の意思決定支援」課題・まとめ

- ・多摩市の高齢化率の上昇、それに伴う認知症高齢者数の増加の進行。
- ・個別地域ケア会議でも「意思決定支援」のための会議の活用が年々増加。
- ・研修部会で、認知機能が低下している人を医療へつなぐ・生活を支えるための意思決定支援の難しさが話題に。

「認知機能が低下した高齢者の意思決定支援」をテーマ選定

◆R4年度「認知機能が低下した高齢者の意思決定支援」

	開催日時・会場	参加者	テーマ	研修内容
第1回目	令和4年11月9日(水) 19:30~20:30 WEB開催	申込者数:94名 WEB窓数:77窓	認知症の早期発見と医療へのつなぎ方 ~多摩市認知症初期集中支援チームの利用例より~	1.多摩市認知症初期集中支援チームの目的、目指すもの、依頼から介入、引継ぎまでの流れについて説明。 2.多摩市認知症初期集中支援チームを実際に利用した、事例の紹介と、事例を通して具体的な流れや動きを説明。
第2回目	令和5年2月1日(水) 19:30~20:30 ハイブリット開催 (WEB+対面)	参加者:47名 対面:10名 WEB:37名	認知症の方への対応、どんなことに困っていますか? ~事例を通したグループディスカッション~	実際の事例を元に、認知機能が低下した高齢者への意思決定支援について、多職種でのグループディスカッションを実施。 各職種が、実際にどのように意思決定支援を行っているかの情報共有を行うとともに、各職種が抱えている「意思決定支援」への困難・課題を抽出。

◆R5年度「認知機能が低下した高齢者の意思決定支援 ~本人の思いをどうつなげていくか~」

	開催日時・会場	参加者	テーマ	研修内容
第1回目	令和5年10月27日(金) 19:30~20:45 対面開催	申込者:参加者:65名	認知症の方への意思決定支援への効果的なアプローチとは ~事例を通した意見交換~	1. 認知症の方への意思決定支援の好事例を複数共有 2. 意思決定支援の困難事例を通して、各職種どのような関わりができるかをグループワークで検討実施。
第2回目	令和6年2月9日(金)予定	※定員50名	ACPを学び在宅支援に役立てよう	1. ACPの基本についての講義 2. 「もしばなゲーム」の体験を通し、自身でACPを体験

◆協議会・研修会で出された課題・意見◆

<課題>

- ・本人の意志には変動がある。
- ・介護者や家族の意見に引っ張られやすい。
- ・家族との意見の相違、関係者間の意見の相違がある。
- ・キーパーソン不在な場合も。
- ・本人、家族も状況の理解不足がある。

<意見>

- ・多職種間のタイムリーな情報共有や意見交換が必要
- ・チームが合意して意思決定することが必要
- ・本人の思いは、その時その時で変わるので、何回も「思い」を聞いていくことが必要。

◆2年間のまとめ(案)◆

「本人の思いをつなげていくために」

①早いうちからのACP

- ・元気なうちからACP(意向確認)
- ・「あらかじめ意思表示をしておく準備」の啓発

②それぞれの専門性に応じた話題展開での「思い」の聞き取り

- ・この職種だから聞けることがある
- ・介護者・家族の思い込みではない、本人の意思を聞く。

③多職種連携(チームとして連携)

- ・聞き取った思いのタイムリーな情報共有 (MCSの利用等)
- ・チームがスムーズに連携(顔の見える関係作り)
- ・チームとして合意をし、意思決定を支援